



大 幼



令和4年度
園長だより No.4
令和4年7月15日

水遊びで水とも仲良し

今年の夏は、猛暑の予想が出ているようです。附属幼稚園では、6m×6mのプールを使って、ワニやカニになったり、水鉄砲やペットボトルシャワーで水を掛け合ったりしながら水と慣れ親しむ遊びを展開してきました。

戸外で友だちと一緒に温かくも冷たい水を通して十分に体を動かすと、自然に水と仲良しになりますね。ポチポチ、自分から近づくのがコツです。



年長さんは、附属支援学校のプールを借りて、広々としたところで「泳ぎの練習」もできました。



七夕飾りに願いを込めて

織姫と彦星のせつない物語は、いくつになっても心に残っているものです。子どもたちも短冊に願いを込めて笹の葉に飾っていました。

「きょうりゅうになりたい」「さかなくんになりたい」などの変身シリーズや「ドラゴンにのりたい」といった個性的な願いもあって七夕様は大忙しです。

夢や希望をたくさん持って、それをかなえる力をこれからじっくり身に付けてほしいと思います。

絵本さん、こんにちは・さようなら



しばらく休んでいた絵本の部屋の運用が始まりました。年長さんは、この先を見通して担任の援助の下で本の貸し借りをしています。親子での絵本選びを楽しんでいるのは、年少・年中の皆さんで、絵本の部屋は大賑わいです。

また、教育実習生たちが絵本の部屋の本の中から教頭先生から勧められた一冊を選んで、一生懸命練習した成果を披露してくれました。子どもたちに絵本の読み聞かせをしてくれる時間は、園児にとっても実習生にとっても絵本でつながる夢の世界が待っているようでした。

そして、甲斐先生によることば遊びと絵本の読み聞かせが始まりました。甲斐先生の溢れんばかりの笑顔と抑揚のある語り口は、いつも子どもたちの心を魅了してしまいます。さらに、保護者サークルの読み聞かせも始まり、誕生日会ではペーパーサートのプレゼントがありました。

附属幼稚園には、絵本の世界への入口があちこち身近なところにあり、子どもたちを楽しく・面白く・不思議な世界へ連れ出してくれます。この環境は、附属幼稚園の宝箱です。

なぜなら、絵本の世界には、人々を幸せにする力があると思うからです。